

エマージェンシーアクションプラン

EAP

作成マニュアル

EAP作成マニュアルとは _____

スポーツにケガはつきものである、と言われています。

スポーツ施設やスポーツ団体が、練習や試合などの緊急時に適切かつ迅速に救急対応を実施するために事前に作成する「緊急時対応計画(EAP)」の作成手順やガイドラインなどをまとめたマニュアルです。

STEP 1 EAPに記載する情報を 収集・記入



基本情報

大会名や施設名、住所など



緊急連絡先

緊急時対応人員と緊急連絡先、
タクシーや病院など

STEP 4 役割分担を記入



手当

- + 胸骨圧迫
- + AED
- + 応急手当て など



連絡

- + 救急車
- + 救助
- + 関係者 など



調達

- + AED
- + スパインボード
- + 救急キット
- + 手当の補助
- + 記録 など



誘導

- + 救急車
- + 観客
- + 選手 など

EAP作成の

5つのステップ

Emergency Action Plan 緊急時対応計画



基本情報

施設名:

住所:

TEL:

目印:

連絡先

安全責任者:

TEL:

施設管理者:

TEL:

ホームDR:

TEL:

消防:

TEL:

警察:

TEL:

消防:

TEL:

消防:

TEL:

消防:

TEL:

タクシー会社1:

TEL:

TEL:

TEL:

タクシー会社2:

TEL:

TEL:

TEL:

病院1:

TEL:

TEL:

TEL:

病院2:

TEL:

TEL:

TEL:

病院3:

TEL:

TEL:

TEL:

設置場所/ルート

AED:

担架:

車椅子:

救急箱:

消火器:

救急車入口:

STEP 3 施設・エリア別マップに必要事項を記入

怪我人発生時の担当者@グラウンド

処置:

連絡:

AED調達:

誘導:

怪我人発生時の担当者@観客席

処置:

連絡:

AED調達:

誘導:

STEP 4 役割分担を記入

作成日: / /

EAP作成マニュアル
フォームはこちら▼



STEP 5 シミュレーション訓練でEAPを検証&反映

STEP 2.3

施設・エリア別マップの作成/ 必要事項を記入



各ルート

搬送経路、
避難経路など



待機場所

事務所、控え室、
医務室・処置室など



用具設置場所

AED、製氷機、
搬送器具など

※階段や段差、門やドアなど搬送の障壁になるもの、鍵の場所や担当者も必ず明記しておきましょう。

STEP 5

シミュレーション訓練で EAPを検証&反映

スタッフ

- +協力
- +連携

場所

- +競技エリア
- +トイレや更衣室などの
競技エリア以外

シナリオ

- +トリプルH
- +その他外傷など

検証搬送

- +手順／動線
- +プライバシー
- +時間経過ログ

定期開催

EAPを作成した後は、具体的なシナリオを想定し、役割を担当するスタッフが全員参加して、その場所で実際に緊急対応ができるかを検証するシミュレーション訓練が必要です。シミュレーション訓練は一度きりの実施ではなく、定期的に行いましょう。

シミュレーション訓練で検証した結果、EAPを変更する必要がある場合はアップデートさせることが大切です。

✓ セーフティトライアングル



スポーツを安全に行える環境は、スポーツに関わるすべての人の協力があって初めて実現します。スポーツの現場にドクターやアスレティックトレーナーなどの専門スタッフが常にいることは稀です。①選手・イベント参加者／家族、②指導者、③施設／競技団体などの三者がお互い協力し合って安全な環境の構築に努めましょう。

✓ セーフティーアクション

スポーツを安全に行う環境に必要な3つのアクションです。



知る=人

スポーツに関わるすべての「人」が安全への関心や知識を深めます。

備える=物

スポーツの安全を守る上で要な「物」を揃えます。

整える=体制

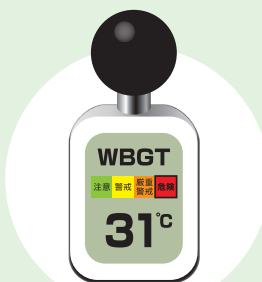
人と物が機能する体制づくりが重要です。緊急時対応計画(EAP)の作成と定期的なシミュレーション訓練によって、より迅速な救助体制が確立されます。

チームで備える物

	品名	サイズ	数量
創傷ケア	使い捨てグローブ (パウダーなし)		10
	絆創膏	小	10
		大	10
	ガーゼ		5
	滅菌ガーゼ	中	5
	綿棒		10
	綿／綿球		10
消耗品	ハイドロコロイド被覆剤		
	防水フィルム(ロールまたはシート)		1
	ホワイテテープ(非伸縮)	38mm	1
	アンダーラップ	70mm	1
	伸縮テープ	50mm	1
	サージカルテープ	10mm	1
	弾性包帯		
固定	包帯	50mm	1
	アイシング用ビニール袋		20
氷	アイシング用ラップ(梱包用)		1
	白色ワセリン		1
その他	手の除菌洗浄剤		1
	コンタクトレンズ用食塩水		1
	経口補水液		1

	品名	サイズ	数量
固定	三角巾(スリング)		1
	サンプリント		1
	はさみ		1
	かみそり		1
	爪きり		1
	毛抜き		1
	CPRマスク／マウスシールド		1
非消耗品 道具	手鏡		1
	体温計		1
	保温アルミシート		1
	ブルーシート／全身冷却用プール		1

施設／競技団体に備える物



黒球式熱中症指数計



AED (自動体外式除細動器)



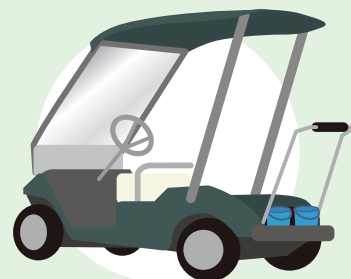
製氷機



スパインボード



アイスバス



カート

Emergency Action Plan:

エマージェンシーアクションプラン

緊急時のチェックポイント

いま目の前で起きている状況が緊急事態かどうかの判断、もし緊急事態だった場合の適切な救急対応、そして迅速な搬送が求められます。

緊急時のチェックポイントは2つあります。目の前で倒れているヒトの「意識の確認」、意識がなければ緊急事態であると判断し、救急車とAEDを要請します。これは、EAPの発動を意味します。次に、チェックポイントの2番目、「呼吸の確認」です。ここでは倒れている人が「普段通りの呼吸」をしているかを確認します。呼吸が普段通りでなければ、直ちに心肺蘇生やAEDの使用を行います。

EAP
とは

EAPは緊急時に誰がどんな役割で対応するかを予め決めておく行動計画で、スポーツセーフティアクションの「整える」体制づくりの根幹です。

EAPの最大の目的は、緊急時に医療機関へ1秒でも早く搬送することです。

試合やイベントの当日は、事前の打ち合わせとしてEAPハドルで確認します。

EAPハドル

緊急時のフローを短時間で要点を絞って説明するミーティングのことです。EAPが発動された際、情報共有により、ヒト・モノがスムーズに流動するようにします。



EAPの作成ポイント

- +施設／場所ごと
- +イベントごと
- +チームごと
- +わかりやすく、簡潔に



緊急時対応計画

スポーツセーフティー

スポーツが安全に行える「環境」を「スポーツセーフティー」と言います。

死亡事故や後遺症が残る事故の原因の90%近くが、突然心停止、脳振盪を含む頭や首のケガ、そして熱中症で最も深刻な熱射病で占められています。

当団体は、この3つの英頭文字 (HEART, HEAD, HEAT) をとって、「トリプルH」と呼んでおります。

スポーツに関わるすべてのヒトがこの「トリプルH」を理解し、アクションを起こすことが大切です。



HEART
突然心停止



HEAD
頭／首外傷



HEAT
熱射病



起こりうる危険を事前に予測し、回避することを「安全配慮義務」といいます。起きた事故が最小限に抑えられるように対応した救護も「回避」に繋がります。

安全管理というと、事故が起きた後の対応に意識が向きがちですが、法廷では、事故が起きた時点から時間軸が戻され、事前に安全配慮義務が果たされていたかに争点が当てられます。スポーツが安全に行われる環境は、事前の体制作りと事故後の対応の両方が整って、初めて実現します。

EAPの項目

- +施設情報
- +緊急スタッフ／連絡先
- +設置場所
- +ルート
- +エリア別マップ
- +役割分担

手当

調達

連絡

誘導

EAPの留意事項

+ハンドサイン

(緊急事態、スパインボード、カート)

+その他のルール

(安全ガイドライン、落雷、感染症など)

組織内では、緊急事態が起きた時に使えるサインやコミュニケーションで使う言葉を、予め決めておく和良好的です。周囲に観衆の声があったり、遠い場所から合図をしなければならない時に必要になります。例えば「頭の上でグーを出したら緊急事態」と決めておき、それぞれの役割が一斉にアクションを開始できるようにしておきます。また、スポーツ中に起こりうる事故ケガの対応についてを、競技のルールブックや、安全ガイドラインで確認しておきましょう。

Emergency Action Plan



公益財団法人滋賀県スポーツ協会

〒520-0807 滋賀県大津市松本1丁目2-20 滋賀県農業教育情報センター4階

TEL.077-521-8001 FAX.077-521-8484

<https://www.bsn.or.jp/>

協力:特定非営利活動法人スポーツセーフティージャパン